

風景印群に表現される地域資源認識

Regional Resources Cognition Expressed in Scenic Postmark Groups

○興梶 卓人*¹, 安田 溪*², 三浦 研*³
Takuto KOROGI*¹, Kei YASUDA*² and Ken MIURA*³

- *1 京都大学大学院工学研究科建築学専攻 修士課程
Master's Student, Department of Architecture, Kyoto University
- *2 京都大学大学院工学研究科建築学専攻 助教・修士(工学)
Assistant Professor, Department of Architecture, Kyoto University, M. Eng.
- *3 京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授・博士(工学)
Professor, Department of Architecture, Kyoto University, Dr. Eng.

Summary: About 13,000 of the post offices in Japan have a local pictorial postmark called a scenic postmark. Scenic postmarks represent regional resources while abstracting and reconstructing the landscape. Analyzing scenic postmarks as a group makes it possible to understand how regional resources are recognized. However, scenic postmarks with almost identical designs do not fully express the region's characteristics. We treat each municipality as a group of scenic postmarks and evaluate the diversity of the images (DI) and the deployment rate (DR) to see if they can be used to study the region's characteristics. The scenic postmark groups of 73 municipalities, accounting for about 30% of the municipalities in the Kinki region, fully reflect regional characteristics, and the distribution of their subjects can correspond to the recognition of regional resources. The distribution of the subjects was then evaluated by the degree of distribution of the subjects (DS). In most regions, subjects' distribution was either unique or hierarchical. The presence of regional resources within a small area and the hierarchy of regional resources are characteristics of the regions that the analysis of scenic postmarks can identify.

キーワード: 風景印; 地域資源; 特徴点抽出法; Simpson の多様度指数; 景観認識; 心象風景

Keywords: Scenic postmark; regional resource; feature detection method; Simpson's diversity index; landscape cognition; mental scenery.

1. 研究の背景と目的

全国の約 24000 局の郵便局のうち約 13000 局に風景印という絵入りの消印が設置されている^{注1}。風景印には郵便局近くの建築物や史跡のほか動植物, 祭り, 眺望景観なども描かれており, 市区町村より細かいスケールで地域資源を表現する媒体である^{注2}。

しかし, 風景印はただ実際の景観に追従するだけのものではない。風景印には複数の地域資源を組み合わせ実際の景観を抽象化・再構成した独特の表現が多く見られるほか, 現存しない地域資源が描かれていることもある (Figure 1)。風景印は, 図案作成者の地域に対する心

象を表したり, 過去の風景をアーカイブするはたらきも持っている。

近接する郵便局の風景印の題材がそれぞれ異なっている場合, その地域には少なくともそれだけの数の地域資源が存在し, 風景印設置時に認知されているといえる。また, 共通する題材がある場合はその題材は広い範囲で地域資源と認識されているといえる。このように, 複数の風景印をまとめ (以下: 風景印群) として捉え分析することでその地域における地域資源の認識のされ方を理解できる。

ところが, 風景印はしばしば市区町村内の複数の郵便局に一斉に設置され, その際に画一的な図案になってしまうことがある^{注4}。この場合は, 風景印設置時に地域を認識する解像度が低く郵便局ごとの地域資源を発見できていなかったか, 題材となっている地域資源がどれくらいの範囲を代表するものなのか把握できていなかったといえる。つまり風景印群を通して地域の特徴を考察する前に, その風景印群が地域の特徴を十分表現しているかを検討する必要がある。



Figure 1. 風景印の例^{注3}

左・尾京都岩倉幡枝局。宝ヶ池と京都国際会館の奥に比叡山を描く。異なる方角の景観をひとつの画面に収めている。

右・清水幸町局。大正12年まで存在した「羽衣橋」の奥に富士山を描く。大和絵の表現「すやり霞」を画面の区切りに使っている。

目視による風景印群の評価は量的に困難で、また客観性の問題も残るので、本論では定量的な評価によって地域の特徴を十分反映した風景印群を把握するとともに、それらに表れている地域資源の認識のされ方を指標化することを目的とする。

2. 既往研究と本研究の位置づけ

風景印に関する研究には、地理学の観点から論じた須山 (2004^[3], 2010^[4], 2012^[5]) や須山、鄭 (2013)^[6] がある。須山 (2010)^[4] は富山県などで風景印の構成要素を分析し、局名・日付のほかの図像の要素を景観要素、非景観要素、文字テキスト、輪郭に分類した。そのいくつかの構成要素が集まって図像のまとまり (モチーフ) を形成すると考察した。須山 (2012)^[4] はさらに島嶼部の風景印群を題材に風景印がどのように「島らしさ」を呈示しているかを示した。このように、風景印単体や1つの風景印群に関する分析や価値づけはされてきた。

本研究では風景印群どうしの関係を相対的に記述する

ことで、どのような風景印群が地域の特徴の理解に役立つかを示し、そういった風景印群から地域の特徴を読み取る指標を提案する。

3. 評価方法の検討

3.1. 風景印データベースの構築

風景印のカタログ『風景印百科 2021CD版』^[2] を整理してデータベースを作成した。同書には風景印の印影と郵便局名、図案説明などが掲載されている。印影の画像を分析する地域ごとにディレクトリに収めそれぞれの風景印の題材^{註5}を表にまとめた。この際、風景印によって表記ゆれがあるものは統一した。また、同一施設の異なる場所のように同じ地域資源と捉えられるものを描いている場合は、Table 1の(c)の1と8のように記入した。

3.2. 特徴的地域のサンプリング

名古屋市中村区、東京都豊島区、東京都墨田区および江東区、京都市北区および上京区からそれぞれ12箇所の風景印を抽出した (Table 1)。

Table 1. 特徴的な4地域の風景印群^{註6}

- (a) 名古屋市中村区の風景印のうち12か所。大鳥居や兜が複数か所に描かれ、まったく同じ図案もある。
 (b) 東京都豊島区の風景印のうち12か所。わずかな差異はあるものの、池袋の街並みが複数か所に同じように描かれている。
 (c) 東京都墨田区と江東区の風景印のうち12か所。東京スカイツリーが4か所、隅田川が6か所に描かれている。1の桜橋モニュメントと8の桜橋全景は同じ地域資源とみなし、「桜橋」を題材に記載した。
 (d) 京都市北区と上京区の風景印のうち12か所。船山と賀茂川がそれぞれ2か所に描かれている以外は題材がばらけている。

(a)						(b)					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
長島鳥帽子型兜, 大鳥居, 水仙	長島鳥帽子型兜, 大鳥居, 水仙	馬蘭後立兜, 大鳥居, 水仙	馬蘭後立兜, 大鳥居, 千成瓢箪	馬蘭後立兜, 大鳥居, 水仙	長島鳥帽子型兜, 大鳥居, 水仙	大塚阿波踊り, 都電荒川線電車, ツツジ, 桜	大塚阿波踊り, 都電荒川線電車, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜
7	8	9	10	11	12	7	8	9	10	11	12
馬蘭後立兜, 大鳥居, 千成瓢箪	秀吉誕生の地, 鳥居, 千成瓢箪	馬蘭後立兜, 大鳥居, 千成瓢箪	千成瓢箪, 中村公園, ターミナル駅, バス, 大鳥居	馬蘭後立兜, 秀吉誕生の地, 石, 大鳥居	千成瓢箪, 大鳥居, 佐屋街道, 松	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	サンシャイン60, 池袋駅周辺, ツツジ, 桜	メトロポリタンプラザビル, 池袋西口公園, 噴水, ツツジ, 桜
(c)						(d)					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
桜橋, 桜橋モニュメント, 東京スカイツリー	隅田川, 吾妻橋, 東京スカイツリー, スーパードライホール, 桜	北十間川風景, 東京スカイツリー	隅田川, 鷹形船, 東京スカイツリー	大横川親水公園, 江東橋	力士, 両国橋	上賀茂神社, 楼門, 玉橋, 家屋敷, カキツバタ, 賀茂競馬会, 神事	上賀茂の社, 家屋敷, カキツバタ	大文字山, 出雲路橋, 賀茂川, 葵祭りの御所車	大徳寺本坊, 方丈, 前庭	賀茂川, 北山, 北大路	牛若丸, 石碇
7	8	9	10	11	12	7	8	9	10	11	12
隅田川, 白鬚橋	隅田川, 桜橋, 屋形船, 墨田常夜灯	隅田川, 言問橋, 屋形船	芭蕉の句碑, 隅田川, 清洲橋, 富岡八幡宮	豊洲市場, リング, ニンジ, キュウリ, トマト, マグロ	亀戸天神の社殿, 太鼓橋, フジ	等持院の清蓮亭, マキノ省三像	金閣寺, 鏡湖池	正伝寺庭園, 船山	光悦寺庭園, 船山	北野天満宮, 梅鉢の紋, ウシ, 西陣織の糸柱	相国寺法堂

(a) 名古屋市中村区の風景印群はすべてに大鳥居が描かれている。千成瓢箪など6か所に共通する題材もある。1か所に固有の題材は4つあり、題材は階層的に分布しているといえる。しかしまったく同じ題材の組み合わせ・図案の風景印もある。

(b) 東京都豊島区の風景印群はすべて桜の輪郭を持つほか、ツツジが11か所、サンシャイン60が9か所で題材になっている。題材の組み合わせが全く同じで、ツツジの位置などわずかな部分を除きほとんど同じ図案の風景印もある。

この2地域の風景印は一斉に設置されたものを含んでおり^{注7}、地域の特徴を反映しているというよりも地域資源を十分風景印に表現できていないといえる。風景印群のすべてに共通して描かれるべき題材が存在したとしても、描き方をそれぞれ工夫したり他の題材を加えたりして多様な図案にすることで一層きめ細やかに地域資源を表現できる余地がある。

(c) 東京都墨田区・江東区の風景印群は複数局に共通する題材と1か所に固有の題材がある。これはこの地域に東京スカイツリーと隅田川という広い範囲で認知されている地域資源と橋など狭い範囲を代表する地域資源が存在し、階層的に認知されていることを反映している。固有の題材のみで構成されている風景印も4か所ある。

(d) 京都市北区・上京区の風景印群は題材が互いに異なっている。寺社や名跡が遍在し、郵便局ごとに描くほどの地域資源が認知されていることを反映している。

以上から、風景印群が地域の特徴を十分表しているかは同じ図案の風景印の有無で判断できると仮定した。また、複数の風景印に共通する題材と1つの風景印に固有の題材の存在比に注目し、風景印群の題材分布の様子を「支配的な題材が存在する・題材分布が階層的・題材がそれぞれ個性的」の3種類に分類した (Figure 2)。

3.3. 画像多様性 (DI)

Figure 3 のような操作で画像多様性 (diversity of images:DI) を導出した。まず Python に実装されている画像処理ライブラリ OpenCV を利用して特徴点抽出により風景印画像の非類似度を測定した (Table 2)。特

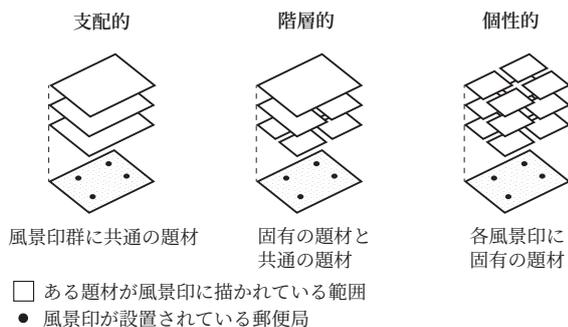


Figure 2. 風景印群の題材分布の様子。題材の分布と地域資源の認知のされ方が対応している場合は風景印群を分析することで地域の特徴を知ることができる。

徴点抽出法は AKAZE を用いた。画像 A に対する画像 B の非類似度を $dis'(A|B)$ とすると、 $dis'(A|B)$ が小さいほど似ている画像であることを示し、

$$dis(A|A) = 0$$

$$dis(A|B) \neq dis(B|A)$$

という特徴がある。各風景印から見た非類似度の最小値の平均をとり、DI とした。DI が高いと風景印の図案がそれぞれ異なることを表し、低いと互いによく似た図案の風景印が存在し風景印群内で目立つことを表す。

3.4. 題材分布度 (DS)

風景印群の題材分布の様子を数値化するため、Simpson の多様度指数を応用した指標を導入した。Simpson の多様度指数は

$$d = \sum_{i=1}^T \left(\frac{n_i}{N} \right)^2$$

として $1-d, 1/d, 1-d/(1-d)_{\max}$ 等で表され^{注7} (N: 総個体数, n_i : 種 i の個体数, T: 種数), 生物種組成の多様性を評価する代表的な指数である。松永ら (2015)^[8] は街路景観の分析に用いた。 n_i が均等なほど大きな値をとり、多様性があることを示す。d では支配的な題材が存在する



② 風景印どうしの非類似度を得る

	A	B	C
A	0	$dis'(A B)$	$dis'(A C)$
B	$dis'(B A)$	0	$dis'(B C)$...
C	$dis'(C A)$	$dis'(C B)$	0
			⋮

③ 各風景印から見た非類似度の最小値の平均を取る

$$DI = \frac{\min(dis'(A|B), dis'(A|C), \dots) + \dots}{n_{sp}}$$

Figure 3. DI の算出方法

Table 2. 風景印画像を AKAZE で特徴点抽出して得た非類似度。左の画像の特徴量が大きい特徴点上位 50 個をそれぞれと対応する右の画像の特徴点と線で結んだ。

	大塚駅前	豊島南大塚	池袋本町
大塚駅前	0	102.1	123.8
豊島南大塚	105.7	0	126.2
池袋本町	122.8	121.7	0

風景印群と題材がそれぞれ個性的な風景印群を区別できないため、確率変数の分母を片方風景印の数 (n_{SP}) に置き換え、 N に題材総数、 n_i に題材 i を描く風景印数、 T に題材の種数を対応させた値を d' とした。これは総題材から無作為に抜き取った1つが風景印群から無作為に抜き取った1つに描かれている確率を示す。すべての i について $n_i=1$ のとき d' は最小値 $1/n_{SP}$ をとる。

$1-d'$ や $1/d'$ は n_{SP} によって値の上限が変わってしまうので、 $1-d'/(1-d')_{max}$ を題材分布度 (distribution of subjects:DS) とした。

$$DS = \frac{1-d'}{(1-d')_{max}} = \frac{1 - \sum_{i=1}^T \frac{n_i^2}{n_{SP} \cdot N}}{1 - \frac{1}{n_{SP}}}$$

DSが0に近いと支配的な題材が存在し、1に近いと題材がそれぞれ個性的で、その中間程度なら階層的な題材分布だと判断できる。Table 3に4地域の題材集計とNを示す。

3.5. DI と DS による4地域の風景印群の分析

4地域のDIとDSをTable 4に示す。DIは(c)と(d)で大きく、(a)と(b)で小さくなった。DSは高い方から順に(d)(c)(a)(b)となった。(a)は階層的な題材分布で同じ図案が存在する風景印群であることがこの指標に表れている。同様に(b)は支配的な題材分布で同じ図案が存在する風景印群、(c)は階層的あるいは個性的な題材分布で図案もそれぞれ異なっている風景印群、(d)は個性的な題材分布で図案もそれぞれ異なる風景印群であるという特徴がDIとDSに反映されている。

3.6. 風景印群の構成単位

1に記した事例もあり、地域の特徴を十分表現していない風景印群を見逃さないようにするにはひとつの市区町村内の風景印をまとまりとして分析するのが適切である。3で扱った風景印群には同じ自治体から抽出したも

Table 3. 4地域の題材集計

	(a)	(b)	(c)	(d)
題材集計	大鳥居: 12, 馬蘭後立兜: 6, 千成瓢箪: 6, 水仙: 5, 長島帽子型兜: 3, 秀吉誕生の地石碑: 2, 中村公園ターミナル駅: 1, バス: 1, 佐屋街道: 1, 松: 1	桜: 12, ツツジ: 11, サンシャイン 60: 9, 池袋駅周辺: 8, 大塚阿波踊り: 2, 都電荒川線電車: 2, 高速道路: 1, メトロポリタンプラザビル: 1, 噴水: 1, 池袋西口公園: 1	隅田川: 6, 東京スカイツリー: 4, 屋形船: 3, 桜橋: 2, 桜橋モニュメント: 1, 吾妻橋: 1, スーパードライホール: 1, 北十間川風景: 1, 厩橋: 1, 花火: 1, 大横川親水公園: 1, 江東橋: 1, 両国橋: 1, 力士: 1, 白鬚橋: 1, 墨田常夜灯: 1, 言問橋: 1, 芭蕉の句碑: 1, 清洲橋: 1, 富岡八幡宮: 1, 豊洲市場: 1, りんご: 1, にんじん: 1, きゅうり: 1, トマト: 1, マグロ: 1, 亀戸天神の社殿: 1, 太鼓橋: 1, フジ: 1	賀茂川: 2, 船山: 2, 上賀茂神社楼門: 1, 玉橋: 1, 賀茂競馬会神事: 1, 上賀茂の社家屋敷: 1, カキツバタ: 1, 大文字山: 1, 出雲路橋: 1, 葵祭りの御所車: 1, 大徳寺本坊方丈: 1, 前庭: 1, 北山: 1, 北大路橋: 1, 牛若丸: 1, 石碑: 1, 等持院の清蓮亭: 1, マキノ省三像: 1, 金閣寺: 1, 鏡湖池: 1, 正伝寺庭園: 1, 光悦寺庭園: 1, 北野天満宮: 1, 梅鉢の紋: 1, ウシ: 1, 西陣織の糸枠: 1, 相国寺法堂: 1
N	38	48	42	29

Table 4. 4地域の風景印多様性

	(a)	(b)	(c)	(d)
DS	0.434	0.267	0.813	0.905
DI	116.6	115.8	124.5	124.6

のと隣接する2つの自治体から抽出したものがあつたが、今後は市区町村ごとに風景印多様性を分析することとする。

3.7. 風景印設置率 (DR)

風景印群を通して地域を評価するには十分な数の風景印が存在することが前提となる。DSとDIに加えて風景印設置率 (deployment rate:DR) も風景印群を評価する指標とする。ある市町村内の郵便局の数を n_{PO} 、風景印の数を n_{SP} とすると

$$DR = \frac{n_{SP}}{n_{PO}}$$

である。DRが高いほど風景印群は地域を詳細に表現している。

3.8. 風景印群評価指標と風景印数の関係

風景印数が0または1のときDIは定義できないため本論では風景印が2局以上にある市区町村を対象に分析する。

4. 近畿地方の風景印群への適用

4.1. DI と DR によるクラスタ分析

近畿地方の245の市区町村のうち、風景印が2か所以上設置されている173の自治体のDS,DI,DRを求め、DIとDRに基づいて非階層クラスタ分析(k-means法)を行った。その際データは標準化した。2指標の高低の組み合わせのうちDI,DRが共に低いものはクラスタをなすほど多くないためクラスタ数は3とした。

Figure 4に散布図、Table 5に各地域のDS,DI,DRとクラスタ分析の結果を示す。クラスタ1は風景印の図案がそれぞれ異なり(DIが117以上)設置率が高い(DRが0.55以上)地域で73の自治体が含まれた。クラスタ2は風景印の図案がそれぞれ異なり(DIが119以上)設置率が低い(DRが0.6以下)地域で92の自治体が含まれた。クラスタ3はよく似た図案の風景印が目立つ(DIが113以下)地域で8の自治体が含まれた。DSが0.5以下の市区町村は7か所、そのうち4か所がクラスタ3に含まれた。

4.2. DS と 題材分布の様子の関係

4.1でクラスタ1に入った風景印群のDSと地域資源の関係性を考察する(Table 6)。DSが0.14の宇治田原町

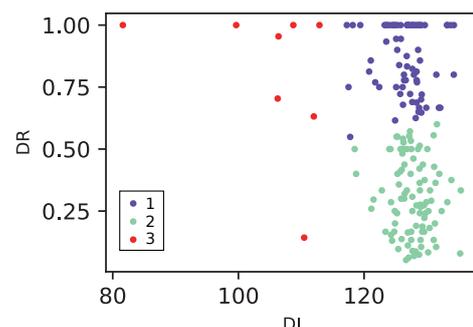


Figure 4. DI と DR の散布図。右上に位置するクラスタ1の風景印群は分析する価値が高いといえる。

Table 5. 風景印が2局以上にある近畿地方の173市区町村のDS,DI,DRとクラスタ分析の結果。網掛けした自治体はTable 6で取り上げた。

クラスタ	市区町村	DS	DI	DR	クラスタ	市区町村	DS	DI	DR	クラスタ	市区町村	DS	DI	DR	クラスタ	市区町村	DS	DI	DR
	京都府宇治田原町	0.14	134	1.00		京都府京丹波町	0.96	126	0.78		大阪府貝塚市	0.87	123	0.33		大阪府寝屋川市	1.00	129	0.07
	大阪府藤井寺市	0.53	118	1.00		和歌山県有田市	0.96	121	0.86		大阪府北区	0.87	123	0.17		大阪府東住吉区	1.00	130	0.08
	和歌山県印南町	0.57	119	1.00		京都府亀岡市	0.97	127	0.83		大阪府高槻市	0.87	135	0.08		神戸市西区	1.00	127	0.11
	奈良県葛城市	0.64	128	0.80		和歌山県御坊市	0.97	126	0.80		兵庫県明石市	0.87	125	0.10		大阪府和泉市	1.00	124	0.13
	和歌山県美浜町	0.67	127	1.00		京都市東山区	0.97	128	1.00		兵庫県たつの市	0.88	129	0.28		兵庫県三木市	1.00	128	0.13
	大阪府池田市	0.72	125	1.00		京都府南丹市	0.97	124	0.93		兵庫県相生市	0.88	131	0.56		大阪府泉南市	1.00	124	0.15
	大阪市港区	0.72	124	1.00		京都市北区	0.97	126	0.75		大阪府東大阪市	0.88	128	0.09		京都市山科区	1.00	125	0.17
	京都府城陽市	0.77	128	1.00		和歌山県有田川町	0.98	125	0.90		堺市北区	0.89	129	0.19		奈良県橿原市	1.00	128	0.17
	奈良県山添村	0.78	133	1.00		兵庫県淡路市	0.98	127	0.72		和歌山県紀の川市	0.90	126	0.30		大阪府天王寺区	1.00	129	0.17
	大阪市旭区	0.78	117	1.00		兵庫県朝来市	0.98	128	0.69		神戸市灘区	0.90	131	0.13		大阪府西淀川区	1.00	130	0.17
	兵庫県加西市	0.85	118	0.75		滋賀県東近江市	0.98	129	0.72		兵庫県南あわじ市	0.90	125	0.55		堺市中区	1.00	130	0.18
	京都府八幡市	0.85	128	1.00		兵庫県香美町	0.98	128	0.77		兵庫県加東市	0.90	127	0.50		京都市中京区	1.00	128	0.19
	兵庫県猪名川町	0.85	132	0.80		兵庫県丹波市	0.98	128	0.69		大阪府枚方市	0.91	129	0.51		大阪府河内長野市	1.00	125	0.20
	和歌山県すさみ町	0.86	125	1.00		京都市右京区	0.99	126	0.68		大阪府茨木市	0.91	125	0.24		兵庫県高砂市	1.00	131	0.20
1	奈良県川上村	0.86	133	1.00	1	奈良県十津川村	1.00	127	1.00	2	奈良県五條市	0.92	129	0.42	2	奈良県大和郡山市	1.00	125	0.25
図	奈良県御所市	0.86	129	0.90		兵庫県新温泉町	1.00	129	0.70	図	神戸市中央区	0.92	128	0.46		和歌山県かつらぎ町	1.00	130	0.25
案	京都府宇治市	0.87	125	0.94		京都府伊根町	1.00	123	1.00	案	兵庫県赤穂市	0.92	126	0.36		大阪府浪速区	1.00	132	0.25
そ	滋賀県湖南市	0.87	129	0.67		和歌山県湯浅町	1.00	124	1.00	が	兵庫県宍粟市	0.93	130	0.27		兵庫県西脇市	1.00	129	0.27
れ	和歌山県由良町	0.87	125	1.00		和歌山県那智勝浦町	1.00	125	0.62	そ	京都府京丹後市	0.94	126	0.54		奈良県生駒市	1.00	128	0.27
ぞ	京都府長岡京市	0.89	127	0.78		大阪府忠岡町	1.00	125	1.00	れ	兵庫県洲本市	0.95	126	0.44		大阪市西区	1.00	124	0.29
れ	滋賀県近江八幡市	0.90	122	0.77		奈良県斑鳩町	1.00	125	0.75	ぞ	京都市伏見区	0.95	124	0.50		和歌山県古座川町	1.00	130	0.29
異	京都府大山崎町	0.90	129	1.00		京都府南山城村	1.00	126	1.00	れ	滋賀県大津市	0.95	121	0.26		滋賀県守山市	1.00	133	0.29
なり	神戸市東灘区	0.90	129	0.65		京都府井手町	1.00	127	1.00	異	兵庫県佐用町	0.96	127	0.57		奈良県河合町	1.00	131	0.33
り	滋賀県高島市	0.90	128	0.81		滋賀県竜王町	1.00	127	1.00	な	和歌山県串本町	0.96	126	0.42		奈良県高取町	1.00	135	0.33
設置	京都府長岡京市	0.91	127	1.00		京都府精華町	1.00	128	1.00	り	兵庫県姫路市	0.97	127	0.16		和歌山県橋本市	1.00	131	0.36
率	兵庫県西宮市	0.91	118	0.55		京都府久御山町	1.00	129	1.00	設	大阪府豊中市	0.98	129	0.13		兵庫県上郡町	1.00	130	0.38
が	奈良県吉野町	0.92	129	0.86		奈良県明日香村	1.00	132	0.67	置	兵庫県三田市	0.98	127	0.33		兵庫県多可町	1.00	134	0.38
高い	和歌山県みなべ町	0.92	128	1.00		奈良県下北山村	1.00	132	0.67	率	神戸市須磨区	0.98	125	0.55		和歌山県広川町	1.00	127	0.40
	京都市西京区	0.92	129	0.65		奈良県天川村	1.00	134	1.00	が	京都市下京区	0.98	126	0.32		兵庫県神河町	1.00	132	0.40
	和歌山県日高川町	0.93	128	0.78		和歌山県岩出市	0.00	125	0.40	低	奈良県奈良市	0.98	126	0.48		和歌山県上富田町	1.00	126	0.50
	奈良県広陵町	0.93	128	0.63		大阪市鶴見区	0.33	126	0.30	い	神戸市北区	0.98	129	0.24		和歌山県紀美野町	1.00	129	0.50
	京都市左京区	0.93	126	0.84		神戸市長田区	0.43	131	0.11		兵庫県養父市	0.98	126	0.53		滋賀県愛荘町	1.00	130	0.50
	滋賀県米原市	0.93	122	0.75		堺市堺区	0.53	122	0.30		滋賀県長浜市	0.98	127	0.55		和歌山県日高町	1.00	132	0.60
	兵庫県豊岡市	0.93	126	0.72		滋賀県日野町	0.60	130	0.22		和歌山県新宮市	0.98	127	0.53		大阪府阿倍野区	0.00	82	1.00
	奈良県東吉野村	0.93	134	0.80		大阪市住吉区	0.60	128	0.25		兵庫県丹波篠山市	0.99	129	0.36		大阪府大東市	0.00	110	0.14
	京都府綾部市	0.94	121	0.81		滋賀県野洲市	0.67	119	0.50		和歌山県田辺市	0.99	126	0.50	よ	神戸市垂水区	0.07	106	0.95
	奈良県天理市	0.94	130	0.67	2	大阪府岸和田市	0.69	130	0.24		和歌山県和歌山市	0.99	126	0.14	く	兵庫県播磨町	0.25	109	1.00
	兵庫県芦屋市	0.95	129	1.00		大阪府箕面市	0.69	128	0.31		滋賀県甲賀市	0.99	128	0.50	似	兵庫県尼崎市	0.52	100	1.00
	京都府与謝野町	0.95	127	0.78		大阪市此花区	0.71	124	0.50		奈良県宇陀市	1.00	131	0.29	た	兵庫県川西市	0.76	112	0.63
	京都府福知山市	0.95	128	0.82		大阪市淀川区	0.75	128	0.09		和歌山県海南市	1.00	129	0.44	図	京都府舞鶴市	0.77	106	0.70
	京都府向日市	0.95	130	1.00		大阪市東淀川区	0.78	129	0.11		奈良県桜井市	1.00	131	0.43	案	和歌山県白浜町	0.87	113	1.00
	京都府京田辺市	0.95	127	0.88		滋賀県彦根市	0.79	126	0.41		大阪府吹田市	1.00	127	0.05					
	兵庫県伊丹市	0.96	124	1.00		京都府宮津市	0.80	119	0.40		兵庫県加古川市	1.00	127	0.06					
	京都市上京区	0.96	126	0.94		大阪市中央区	0.84	129	0.33		大阪府八尾市	1.00	128	0.07					

Table 6. 風景印群とその題材分布の様子^{註9}。図案がそれぞれ異なる上段のものは地域の特徴を十分表現しているといえる。那智勝浦町からわかるような狭い範囲で認知されている地域資源の存在や、藤井寺市からわかるような地域資源の階層性は風景印群の分析によってわかる地域の特徴である。

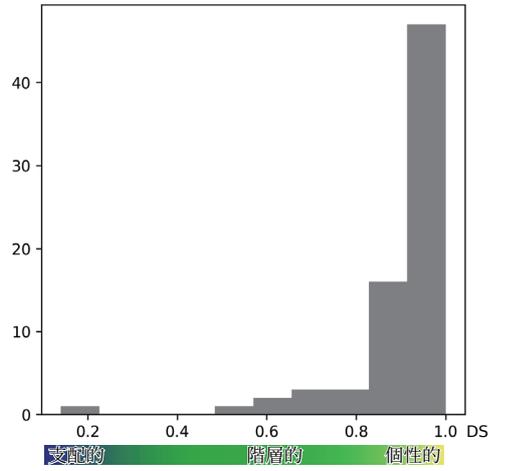
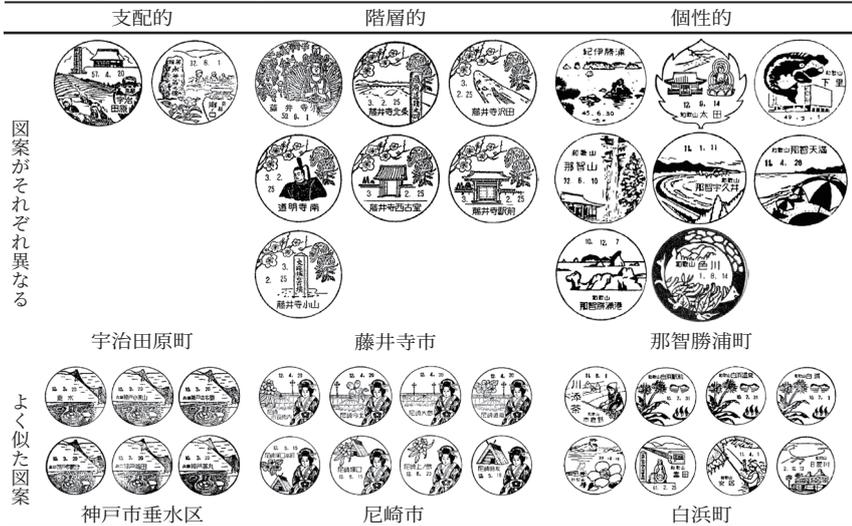


Figure 5. クラスタ1に含まれた73地域のDSの度数分布。題材分布の様子は明確に線引きできるものではないが、地域の特徴を十分反映している風景印群のほとんどは題材がそれぞれ個性的か題材分布が階層的といえる。

は2か所の風景印のどちらにも茶摘みの風景と茶壺、茶祖永谷翁の生家が描かれており支配的な題材が存在する。宇治田原町は「日本緑茶発祥の地」^{注10}をうたっているが、風景印群からも茶を町全体の地域資源として扱っていることがわかる。また、DSが近い播磨町や神戸市垂水区と比べDIが高い。宇治田原町は各郵便局が風景印を制作した結果題材が共通したのに対し、播磨町や神戸市垂水区は風景印設置時の検討が不十分で図案が似通ってしまったことが理由と考えられる。

DSが0.53の藤井寺市は7か所の風景印の内うち6か所に菊と梅、3か所に葛井寺の文化財を描いている。各風景印に固有の題材もあり階層的な題材分布である。菊と梅はそれぞれ市の花・市の木で市全体の地域資源として認識されているといえ、葛井寺は国宝の千手観音坐像と重要文化財の四脚門を有し市名の由来でもある重要な地域資源である^{注11}。このことが風景印群にも表現されている。また、DSが同程度の尼崎市と比べてDIが高い。これは藤井寺市では風景印の背景・周縁部が共通しているのに対し尼崎市では前景が共通しているからだと考えられる。

DSが1.00の那智勝浦町は8か所の風景印の題材のすべてが1か所の郵便局に固有で、題材がそれぞれ個人的といえる。世界遺産の那智の滝や青岸渡寺だけでなく白菊の浜、紀の松島など郵便局ごとに描くほどの豊富な地域資源があることを反映している。クラスタ1のうちDSが0.9以上の自治体が53を占めた(Figure 5)。

5. 結論と今後の展望

本論では風景印を市区町村ごとに風景印群として扱い、地域の特徴の考察に活用できるかを画像の多様性(DI)と設置率(DR)で評価した。近畿地方の市区町村の約3割にあたる73の自治体の風景印群は地域の特徴を十分反映しており、それらの題材分布の様子は地域資源への認識と対応しているといえる。

続いてそのような地域の題材分布の様子を題材分布度(DS)で評価した。ほとんどの地域は題材がそれぞれ個人的か題材分布が階層的だった。狭い範囲で認知されている地域資源の存在や地域資源の階層性は風景印群の分析によってわかる地域の特徴である。

今後、風景印群が地域の特徴を十分反映している地域では風景印の題材と郵便局の位置を地図上に整理することで地域資源を階層的に把握できるほか、風景印と実際の景観を比較することで図案化に際し注目した箇所や捨象した箇所を知ることができる。また、住民や観光客の地域理解に寄与する取り組みにも風景印を活用できる。

現在風景印が画一的な地域や少ない地域においては住民の案を取り入れながら風景印を作ることで地域への愛着を養うことができる^{注12}。新しい風景印の評価には本論の指標を利用できる。

このような取り組みで得た風景印案や既存の風景印の図案制作者への聞き取り調査を行えば、地域への認識がどのように風景印に表現されたか、あるいは風景印制作を通して地域に対する理解が変化したかを考察できる。ケヴィン・リンチはイメージマップを描いてもらうことで都市のパブリック・イメージを導き出したが、風景印や風景印案の分析はごく狭い範囲における地域資源とそれに対する心象、並びにある地域資源が認知されている範囲を把握できる。

注

- 注1 2021年7月時点。日本郵便^[1]および風景印百科^[2]による。
- 注2 須山(2010)^[4]は「風景印設置局は、数の上では市町村レベルよりもはるかに精細な空間的スケールで分布している」としている。
- 注3 筆者が郵便局を訪問して押印してもらったもの。
- 注4 2014年5月30日の大阪市阿倍野区や1998年3月20日の神戸市垂水区での一斉設置の例がある。
- 注5 ここでいう題材とはおおむね須山(2010)^[4]のデータベースにおける構成要素に相当し、本文で後述するとおり複数か所に共通の地域資源を加えたものである。
- 注6 風景印の画像は風景印百科^[2]p.403, 109, 118, 490から引用した。
- 注7 中村区では1993年5月5日と1996年5月1日に、豊島区では1999年11月11日に風景印が一斉に設置された。
- 注8 伊藤(1990)^[7]は群落研究に適用すべき多様性指数としてこの3つを含む7つを推奨した。
- 注9 風景印の画像は風景印百科^[2]p.515, 541-542, 534-535, 546, 548-549から引用した。
- 注10 宇治田原町では江戸時代中頃現代の緑茶製法の礎となる「青製煎茶製法」が生まれた^[9]。
- 注11 乾漆千手観音坐像は大阪府下唯一の天平仏、四脚門は桃山様式をよく伝える建造物として評価されている^[10]。
- 注12 引地ら(2009)^[11]は「地域環境に対する評価が高い住民ほど、地域に強い愛着を持つ」と結論付けた。

参考文献

- [1] 日本郵便ホームページ <https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/storeinformation/index02.html>
- [2] 『風景印百科 2021CD版』日本郵趣出版, 2021
- [3] 須山聡: 風景印にみる地域の提示, 非文字資料研究 News Letter, No.03, pp.16-18, 2004
- [4] 須山聡: 風景印のイコノロジー, 地域学研究, 23号, pp.13-28, 2010
- [5] 須山聡: 風景印のリテラシー, 駒澤地理, 48号, pp.15-34, 2012
- [6] 須山聡, 鄭美愛: 風景印のイデオロギー, 駒澤地理, 49号, pp.63-82, 2013
- [7] 伊藤秀三: 多様性指数間の相関関係: 各種の指数値は何を表すか, 日本生態学会誌, 40巻3号, pp.187-194, 1990
- [8] 松永一郎, 田上健一, 黒瀬重幸: Simpsonの多様性指数を用いた街路景観の定量分析, 日本建築学会計画系論文集, 80巻714号, pp.1863-1873, 2015
- [9] 宇治田原町観光情報サイト <https://ujitawara-kyoto.com/>
- [10] 藤井寺市観光協会公式サイト <https://fujiiidera-kanko.info/>
- [11] 引地博之, 青木俊明, 大淵憲一: 地域に対する愛着の形成機構-物理的環境と社会的環境の影響-, 土木学会論文集D, 65巻2号, pp. 101-110, 2009